

スーパー連携大学院地域コア説明会開催報告



主催：国立大学法人電気通信大学
共催：首都圏産業活性化協会（TAMA協会）
日時：平成25年3月27日（水）16:00～17:30
場所：電気通信大学 東3号館（総合研究棟）3階301号室

写真：会場の様子

【主催者挨拶】



写真：福田喬理事

電気通信大学では、TAMA協会と連携して、多摩地区を中心とした首都圏地域の企業との共同研究をベースとした人材育成と同時に地域の活性化を目指し、本学と地域の企業等との産学連携を一層強化するために「スーパー連携大学院地域コア」を形成することにいたしました。

そのため、本学の産学官連携活動とTAMA協会の活動について、また地域コアが何を狙っているのかについて、企業の方々にご理解いただくための説明会を開催いたしました。

当日は年度末の多忙な時期の開催にもかかわらず、約70名の方がご参加したことに対して、福田理事より謝辞が述べられました。

【電気通信大学における産学官連携活動について】



中嶋信生産学官連携センター長

産学官連携センターの活動について、中嶋信生センター長よりプレゼンテーションがありました。産学官連携センターは、「共同研究センター」として設置されてから20年ほどになる組織で、大学シーズの紹介、企業ニーズの発掘、大学発ベンチャーの育成、地域貢献、大学の実践教育への貢献などをミッションとしています。その中で、特に実践教育であるインターンシップ、キャリア教育については、イノベティブな志を持ち実社会で活躍する博士の育成を目指すスーパー連携大学院の教育活動との連携が今後期待されます。

また共同研究についても、「地域コアの活動を通じて地域の企業との連携をさらに深めていきたい」と今後の展開への期待の言葉がありました。

【産学官協働ネットワークによるイノベーション博士養成と地域再生】



写真：田野俊一教授・学長補佐

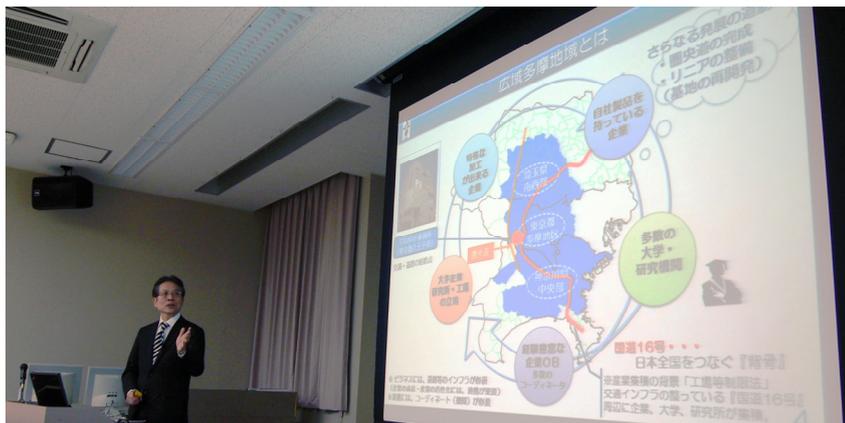
田野俊一教授・学長補佐より、「スーパー連携大学院」の概要と、文部科学省平成24年度大学間連携共同教育推進事業「産学官協働ネットワークによるイノベーション博士養成と地域再生」（以下、本取組）についての説明がありました。

スーパー連携大学院は、大学と産業と行政が一緒になって取り組む、社会に求められる「イノベーション博士」育成プログラムです。教育と共同研究が両輪となった人材育成を、多様な産学官のイコールパートナーシップで実現することが特徴で、イノベーション人材を育成するとともに、産業界や地域でのイノベーションの創出が期待できます。

本取組では、スーパー連携大学院プログラムを実践する産学官の連携体「地域コア」を各地域に設置し、各地域に適した人材育成の方法などについて検討・実践していきます。また、それらの試行・評価・改善を進め、産学官の共同出資型大学院設置について検討を行うこととしております。

本学では、TAMA協会と連携して多摩地域を中心とした地域コアの設置を検討しており、田野教授は「多摩地区の特徴を活かして、どんなことができるかということを考えていきたいので、ぜひご協力をお願いしたい」と企業の方々への地域コア活動参加をお願いしました。

【首都圏産業活性化協会の活動について】



写真：岡崎英人TAMA協会事務局長



TAMA協会事務局長の岡崎英人氏から、TAMA協会の活動についてのご説明がありました。

TAMA協会は、地域の企業、大学、研究機関、自治体、商工団体、金融機関等が今までにない活発な連携・交流を通じて、強固なネットワークを築き、世界有数の新産業創造拠点を目指す産学官金のコーディネート機関です。産学連携部門、販路開拓・海外展開部門、人材育成・確保部門があり、「首都圏西部スマートQOL（Quality of Life）技術開発地域」や「製品技術連携スクエア（TAMA Collaboration Square）事業」、「グローバル経営人材育成講座」、「人材確保・定着支援事業」などの幅広い産学官金連携活動を行っています。

これらのTAMA協会の活動内容は、地域コア活動と目的が重なる部分が多く、地域コアのネットワークを利用して室蘭、北見、富山、大分、秋田などの地域とつながることで、TAMA地区の資源を多地域で活かし、また地域の資源でTAMA地域がさらに発展するというWin-Winの連携効果を期待することができます。

（作成：スーパー連携大学院推進室 統括コーディネーター 宇梶純良）